



LEICA M

ファームウェア アップデート

ファームウェア

カメラ名	ファームウェアバージョン
Leica M11	2.0.2
Leica M11 Monochrom	2.0.2
Leica M11-P	2.0.2

NEW

- ・ レンズ交換の際の防塵対策機能が手動で設定可能に

不具合修正

以下のエラーを修正しました：

- ・ **テザリング**モードで画像を転送中、カメラの電源を切ると画像が失われることがある
- ・ Leica FOTOSに接続時の**テザリング**モードの不具合
- ・ 再生モードで画像を拡大表示すると画面がちらつくことがある
- ・ **ユーザープロフィール**に**Extended Dynamic Range**の設定が保存されない
- ・ カメラの電源を切ると前回使用の**ユーザープロフィール**が削除される

メモリーカード使用時の注意事項

- ・ 現在UHS-I SDカードを使用時、稀に技術的エラーが起こることがあります。この問題に対しての最適化に関するファームウェアは後日アップデートされます。これらのエラーを防ぐため、またカメラを最適な状態で使うためにUHS-II SDカードの使用をお勧めします。

DNGファイルのインポートに関する重要なお知らせ

- ・ 稀に、SDカードからAdobe PhotoshopやAdobe Photoshop Lightroomなどの画像処理プログラムにDNGファイルを読み込む際に、データ構造が破損しファイルが読めなくなることがあります。このエラーはまもなく修正されます。

「テザー撮影」に関する重要なお知らせ (M11-Pのみ)

- ・ テザリングモード使用中にLeica Content Credentialsをオンにした場合、画像に不具合が生じています。このエラーはまもなく修正されます。



取扱説明書 (詳細編) は以下のURLからダウンロードできます。

<http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads>



取扱説明書 (詳細編) の冊子を無料でお送りします。ご希望の方は以下のURLからご注文ください。

www.order-instructions.leica-camera.com

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 案にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- メニュー項目**カメラ ファームウェア Ver.**の隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアをアップデートする

ファームウェアアップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- ▶ バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- ▶ メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - メモリーカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意:データ消失!フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
 - 内蔵メモリーのデータも事前にバックアップしてください。
- ▶ 最新のファームウェアをダウンロードする。
- ▶ メモリーカードに保存する。
 - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- ▶ メモリーカードをカメラに挿入する。
- ▶ カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

- ▶ 準備する。
- ▶ メインメニューでカメラ情報を選択する。
- ▶ **カメラ ファームウェア Ver**を選択する。
- ▶ **ファームウェア アップデート**を選択する。
 - ・ アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- ▶ バージョン情報を確認する。
- ▶ **はい**を選択する。
 - ・ 「**プロフィール情報をSDカードに記録しますか?**」という、確認メッセージが表示されます。
- ▶ **はい**または**いいえ**を選択する。
 - ・ アップデートが自動的に開始します。
 - ・ 処理中は、LEDランプ(下)が点滅します。
 - ・ 正常に完了すると、終了のメッセージが表示され自動的にカメラが再起動します。

メモ

- ・ 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。

警告

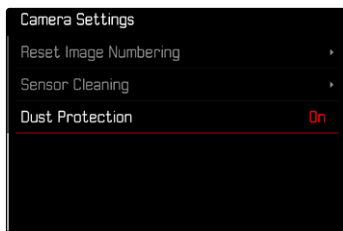
ファームウェアアップデート後、カメラの再起動前にメモリーカードを取り出してください。

メモリーカードは再びカメラに入れる前にコンピューターでフォーマットしてください。

防塵対策

レンズ交換の際には塵などの侵入を防ぐため、シャッターが自動的に閉じます。一部のアダプターを使用した場合、レンズ検出用のセンサーが完全にカバーされない場合があります。その結果、再び装着したレンズを認識できず、自動的にシャッターが開かないことがあります。このようなアダプターを使用する場合は、レンズを交換する前にこの機能をオフに設定してください。

- ▶ メインメニューで**カメラ設定**を選択する。
- ▶ **防塵対策**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。



メモ

- ・ カメラの内部にほこりなどが入り込むのを防ぐために、カメラには常にレンズまたはボディキャップを取り付けておいてください。
- ・ レンズ交換は、ゴミやほこりの少ない場所ですばやく行ってください。